体制づくりを進める上で必要となる人材（コーディネーター）の配置について(案)

【配置の必要性】

関係機関同士が互いに助言し、支援しあう体制をつくるために、全体を調整する役割の人材（コーディネーター）が必要であり、国もそのような人材を置くよう求めている。

【秋田県が考えるコーディネーター像】

秋田県が考えるコーディネーター像は次のとおり

- ・ 生活分野における日本語教育事業の推進にあたって、事業全体の企画・進捗把握・連絡調整等の役割を担うほか、市町村や地域日本語教室などの取組に対して提案や助言などを行う。

（人物像）

- ・ 日本語教育に関する知識があり、地域日本語教室と関わってきた実績がある。
- ・ 地域日本語教室と信頼関係がある。
- ・ 市町村との調整が円滑にできる。

（配置先等）

配置先：秋田県国際交流協会

勤務形態：非常勤

（業務内容）

- ・ 日本語教育の環境整備を進めるための、各分野間の連絡調整等
- ・ 生活分野における日本語教育事業の企画・進捗把握・連絡調整等
- ・ 日本語教室指導者、日本語学習支援者の育成・支援
- ・ 市町村による日本語教室開設や拡充等の取組への助言 など